

御 殿 山

御殿山生涯学習美術センターだより

# 森のアトリエ

4 April



矢野橋村 作、二曲一双屏風「春山帰牛図」

天門美術館同時期開催

## 矢野橋村 所蔵品展

(期間中展示替え有)

3/28 (火) ~ 5/6 (土)

午前9時~午後9時

日曜・祝日は午後5時まで センター1階ロビーにて

寄贈品展示 (1F ロビー)



### 伊羅保釉壺

(13.0×19.0×18.5)

熊倉順吉 作

4月末まで (予定)

植村猛さんからの寄贈品を  
順次紹介していきます。

※熊倉順吉 (1920~1985)

京都府生まれ  
ブリュッセル万国博覧会グランプリ  
プラハ国際陶芸展銀賞受賞

発行：枚方市立御殿山生涯学習美術センター

〒573-1182 枚方市御殿山町 10-16

電話：050-7102-3135 fax：072-847-8351

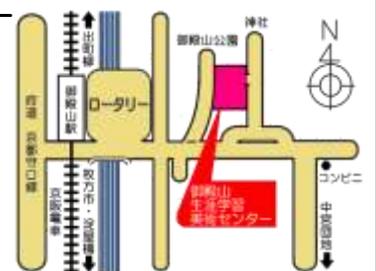
<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/gotenyama/>

e-mail: [cengb@city.hirakata.osaka.jp](mailto:cengb@city.hirakata.osaka.jp)

〈開館時間〉月~土曜日 9:00~21:00、

日・祝日 9:00~17:00

〈休館日〉第4月曜 (祝日は開館)・年末年始



天門美術館同時期開催

# 矢野橋村 所蔵品展



石碑に刻まれた  
矢野橋村自筆の文字  
「大阪美術学校」  
(センター中庭にて)

御殿山に美術センターが誕生したのは、御殿山が大阪美術学校跡地であった由緒によるものです。今回の所蔵品展では学校の創設者であり校長でもある矢野橋村の作品と、設立に参加した教授陣の作品、同校の卒業生の作品を展示します。

大正 13 年に大阪美術学校は天王寺区悲田院町に誕生しました。折しも大正 14 年大阪市はニューヨーク、ロンドン、パリなどに次ぐ世界第 6 位の都市人口で東京を抜いて日本一となり、文化・美術・文学・音楽といったソフト面でも近代都市にふさわしい実質を備えなければという人々の熱気が溢れていました。大阪美術学校はそのような中船出しました。心ある篤志家も現れ、さらに理想的な広い土地を求めて、昭和 4 年に牧歌調の田園を残す牧野村御殿山に新築移転しました。今も多くの市民が美術制作に励むこの地で、かつて自由な気風の中で制作に勤しんだ先人の作品をご鑑賞ください。



(矢野橋村氏)

**(矢野橋村略歴)** やのきょうそん 明治 23(1890)年～昭和 40(1965)年

現在の愛媛県今治市生まれ。本名一智。17 歳で、来阪し、大阪陸軍砲兵工廠に就職し、作業中に左手首切断の負傷を負う。南画家を志し 20 歳でようやく永松春洋に師事して創作に励み、大正美術会、大阪茶話会に参加、のち主潮社を結成。日本南画院創設同人として活躍し、大正 13(1924)年大阪美術学校を創設、校長となる。帝展、新文展で審査委員をつとめ、昭和 14(1939)年乾坤社を主宰。新聞小説「宮本武蔵」「大菩薩峠」等挿絵の名手としても広く知られる。昭和 35(1960)年日本南画院再興に参画、のち会長となる。翌年「錦楓」で日本芸術院賞受賞。



(大阪美術学校全景)

**(大阪美術学校)** 大阪美術学校は、洋画に斎藤与里、日本画に福岡青嵐などの教授陣をそろえ、矢野橋村みずからは校長に就任し、第 1 期生として男子 120 名、女子 30 名が集まりました。御殿山への移転後、白亜の瀟洒な二階建て洋館は高台にそびえ、どこから

見ても偉容を誇りました。本校舎に併設された美術館となる予定の「大来館」は矢野橋村の住まいとなり、学校近くには寄宿舎もありました。昭和 19 年には陸軍に施設を接收され、大阪美術学校は 20 年の歴史を閉じました。戦後、多くの卒業生は日展、日本南画院等で華々しく活躍を続けることとなりました。



(大阪美術学校日本画室)



(大阪美術学校洋画石膏室)

同時期開催

# 天門美術館のご案内

(所在地：〒573-0049 大阪府枚方市山之北町 3 番 1 号)

2017 年度春季特別展

## 「枚方ゆかりの南画家 矢野橋村」～その知られざる一面

- 開催期間：前期 4 月 8 日（土）～4 月 20 日（木）  
後期 4 月 22 日（土）～5 月 4 日（木・祝）金曜休館
- 開館時間：午前 10:00～17:00  
4 月 22 日（土）のみ 13:30 開館
- 入館料：一般 1,000 円 中・小生 500 円
- その他：記念講演会 4 月 9 日（日）14:00～  
音楽演奏会 4 月 22 日（土）14:00～
- 問い合わせ：電話及び FAX 072-841-0006



## 活動報告

### 活動委員会事業

### 「はるかぜフリーマーケット&手づくり市・おりがみ教室・デコバック作成教室」



フリーマーケットは9つの登録団体にご協力いただきました。皆さん手馴れた様子で搬入・準備を行われ会場は和気あいあいとした雰囲気でした。出展者アンケートでは、集客のため「駅前・スーパー・郵便局など人目につくようなところにポスターを貼る。」「春休みに行く。」などのアイデアができました。



### センター主催実技講座

### 「はじめて学ぶきりえの楽しさ」

枚方きりえ倶楽部会長の岡田禎二氏の講義にて「切り絵」講座を開催しました。切り絵の基礎から、講師の図案による作品作成まで行いました。

岡田先生は、日本の切り絵の奥深さ、情緒ある素晴らしさを述べられ、受講生がこの機会をきっかけとして切り絵を続けていただければとおっしゃっていました



# 29 年度 年間 予定

※ 予定は 変更 される 場合 が あり ます。

	主催事業 作品合同展 (実行委員会主催)	活動委員会事業 フェスタ (実行委員会主催)	その他
4 月			16 日 (日) ロビー展申込み 4 期 (6 月 19 日 ~ 7 月 16 日分)
5 月		20 日 (土) 「自分だけのオリジナル扇子を作ろう」	14 日 (日) ロビー展申込み 5 期 (7 月 17 日 ~ 8 月 13 日分)
6 月		10 日 (土) 11 日 (日) 御殿山フェスタ	窯抽選 2 期 (8.9.10.11 月分) 11 日 (日) ロビー展申込み 6 期 (8 月 14 日 ~ 9 月 10 日分)
7 月			9 日 (日) ロビー展申込み 7 期 (9 月 11 日 ~ 10 月 8 日分)
8 月		夏休み子ども工作体験 (予定)	6 日 (日) ロビー展申込み 8 期 (10 月 9 日 ~ 11 月 5 日分)
9 月		つみきであそぼう。カブラの世界 (予定)	3 日 (日) ロビー展申込み 9 期 (11 月 6 日 ~ 12 月 3 日分)
10 月	作品合同展 17 日 (火) ~ 22 日 (日) 9:00 ~ 17:00		窯抽選 3 期 (12.1.2.3 月分) 1 日 (日) ロビー展申込み 10 期 (12 月 4 日 ~ 12 月 28 日分) 29 日 (日) ロビー展申込み 11 期 (1 月 4 日 ~ 1 月 28 日分)
11 月	アトリエ美術館		26 日 (日) ロビー展申込み 12 期 (1 月 29 日 ~ 2 月 25 日分)
12 月		クリスマスコンサート (予定)	ID 期限更新受付開始 24 日 (日) ロビー展申込み 13 期 (2 月 27 日 ~ 3 月 25 日分)
1 月	21 日 (日) サンサン人形劇  実技講座 (美術講座 2 ~ 3 講座開催) 希望の講座があれば事務所まで!		団体ロッカー利用申込み受付開始 21 日 (日) ロビー展申込み次年度 1 期 (3 月 27 日 ~ 4 月 22 日分) エレベーターの入れ替えを予定しています。
2 月		けん玉であそぼう (予定)	陶芸ロッカー抽選 窯抽選 1 期 (新年度 4.5.6.7 月分) 18 日 (日) ロビー展申込み次年度 2 期 (4 月 24 日 ~ 5 月 20 日分)
3 月		はるかぜフリーマーケット (予定)	個人利用カード期限更新受付開始 創作ロッカー抽選 18 日 (日) ロビー展申込み次年度 3 期 (5 月 21 日 ~ 6 月 10 日分)

※ ロビー展の申込みは当センター利用団体となります。

駐車場・入口の開錠が



午前 8 時 45 分 になります。

平成 29 年 4 月 1 日 より 実施 します。ご協力 おねがい します。



市制 70 周年

このひこぼし君を見つけてね!

夢のせて 70 年

さらにはばたく 枚方市

枚方市は今年市制施行 70 周年。記念事業で使用するロゴとキャッチフレーズの公募を行いました。全国各地からロゴ 148 件、キャッチフレーズ 882 件の応募が寄せられ、選考会議を経て決定しました。